

令和2度モノづくり技術力向上のための「技術研修事業」

耐候性（環境）試験による製品の 寿命・安全・信頼性の向上 公設試初！太陽光5倍照射強度試験の紹介

参加費
無料

プラスチック製品などは、太陽光や降雨にさらされることで、材料強度や見た目の変化が起こります。耐候性試験は、このような現象を装置内のコントロールされた条件により劣化促進試験を行うことで、製品の長寿命化や信頼性・安全性の向上に活用される重要な試験方法です。

今回の「技術研修」では、耐候性試験で利用される各種光源（キセノン、メタルハライド、カーボンアークなど）の特徴および、JISやISOなどの試験規格についてご紹介するとともに、試験条件の設定やサンプルリング条件など試験の計画やコツについても学んでいただきます。試験後に必要な評価方法についても、色差測定、ヘーズ（くもり度）測定、強度試験などについて概要をご紹介します。

実習では、当センターに導入されたキセノンウェザーメータ（大型高促進型）を用いた実演をします。温度制御のもと太陽光の5倍の紫外線照度で劣化促進試験が初めて可能となりました。関心のある方は、ぜひご参加ください。

なお、当日の会場では、感染症予防対策として参加者のマスク着用をお願いします。体調不良（風邪症状、発熱、倦怠感等）の方や、2週間以内に海外から帰国の方は、参加を控えてください。当日は十分な座席間隔の確保、換気、アルコールによる消毒を行うことについてご理解・ご協力をお願いいたします。状況によっては、開催の延期や中止となることもあります。

開催日時等

日時：令和2年11月25日（水）
13時15分から17時00分まで

場所：滋賀県工業技術総合センター
2階 大研修室

参加費：無料

講師



スガ試験機株式会社
小池 政利氏

講習会内容

第1部 技術講習会（13:15-15:00 定員：16名）

「樹脂や塗装、各種材料の耐候性・劣化試験」

耐候性試験の各種光源による違いや特徴、太陽光の5倍の試験、JISやISOなど規格試験、業界での取組み状況、環境曝露との比較、試験後の評価方法をご紹介します。

第2部 実習（15:15-16:30 定員：10名）交代制

「キセノンウェザーメータでの耐候性試験の実際」

センター保有の装置を用い、耐候性試験の実際、標準サイズ試料以外の試料設置の工夫やサンプルリングなど試験のコツについて学んでいただきます



キセノンウェザーメータ(大型高促進型)

本装置は、太陽光と似たスペクトルの光源を使用し、太陽光と同等1倍強度の60w/m²以上に、3倍強度、5倍強度の試験が可能です。

お申し込み : <https://www.shiga-irc.go.jp/info/news>

お問い合わせ先：滋賀県工業技術総合センター 有機材料係 白井、大山
(滋賀県栗東市上砥山232 TEL：077-558-1500)